

<p>① 現場説明書 P2(石綿含有建材について) 設計図書 A-05【参考】石綿の有無について 参考数量内訳書 P14</p>	
<p>事前調査は工事対象部分を行います、参考数量内訳書に試料採取及び石綿含有分析調査費の項目記載がありません。設計・契約変更と考えて良いでしょうか。 また、設計図書記載石綿の有無 不明と記載されている部分はすべて分析調査と考えて良いでしょうか。もしくは、撤去工事の絡む部分のみ分析調査と考えて良いのかの指示をお願いします。</p>	<p>基本的には、撤去工事が絡む部分のみ分析調査の対象としています。事前調査実施時点で、分析調査が必要となる部分については、監督員と協議の上設計変更の対象となります。</p>
<p>② 石綿の有無に関して調査されている分析結果の書類は、貸与頂けると考えて良いでしょうか。</p>	<p>貸与します。</p>
<p>③ アンカーピン等の打設を行う際は、振動ドリルにて施工と考えて良いでしょうか。</p>	<p>設計時点では、振動ドリルにて施工で計画しています。</p>
<p>④ 設計図書 A-59 参考数量内訳書 P9・10(外壁改修) P14共通仮設費(積上分)</p>	
<p>設計図書 ひび割れ補修Uカット・躯体補修G・躯体補修H・既存塗膜下地処理サンダー工法・石綿含有除去に数量が入っていません。 また、参考数量にも 石綿含有の記載がありません。 共通仮設費(積上分)石綿含有粉塵試験結果より、石綿含有除去費を設計・契約変更すると考えて良いでしょうか、指示願います。</p>	<p>外壁補修数量については、設計時点では手が届く範囲の打診調査及び目視調査、過去の工事の実績値を基に積算しています。 工事で、外壁補修数量が増減する場合には設計変更の対象となります。</p>
<p>⑤ 設計図書 A-59 参考数量内訳書 10(外壁改修)</p>	
<p>設計図書 既存塗膜下地処理サンダー工法10,000㎡、参考数量内訳書(タイル補修)アンカーピンニング10,000本、と記載されています。参考数量内訳書に打放し面・仕上げ塗材面2,901㎡と記載あります。参考数量内訳書のアンカーピンニング10,000本、部分エポキシ樹脂注入工法と考えて良いでしょうか、指示願います。</p>	<p>設計図書の既存塗膜下地処理サンダー工法10,000㎡が誤記、アンカーピンニング10,000本が正です。外壁補修数量については、設計時点では手が届く範囲の打診調査及び目視調査、過去の工事の実績値を基に積算しています。 工事で、外壁補修数量が増減する場合には設計変更の対象となります。</p>
<p>⑥ 設計図書 A-15・34</p>	
<p>X2通り凹部分立面図のアルミスパンドレル部分にFU3記載あり、外部仕上げ表を正とし高圧洗浄のみと考えて良いでしょうか、指示願います。</p>	<p>アルミスパンドレル部分の数量は、亜鉛メッキ面の数量に合計して計上しています。立面図が正、外部仕上げ表が誤記です。</p>
<p>⑦ 設計図書 A-29・32・33・47・58 参考数量内訳書 10(塗装改修)</p>	
<p>階段等手摺 アルミパンチングパネル部に、FU3の記載があります。 参考数量内訳書 ふっ素樹脂エナメル塗(アルミ面)の明細がありません。 手摺棒(亜鉛めっき面)のみ塗替えでしょうか。 また、アルミ面塗替えであれば、設計・契約変更として考えて良いでしょうか、指示願います。</p>	<p>アルミ面の数量は、亜鉛メッキ面の数量に合計して計上しています。</p>